

ツーバイフォー大阪トップ

「フル装備」に込めた思いを教えてください。

◆当社はお客様視線を何より大事にしており、まず照明やエアコン、カーテンの標準装備からスタートしました。通常はそれぞれに購入・設置の立ち会いが必要で大変です。そこで、自社一貫施工の当社が間に入ることで、設計士・インテリアコーディネーターなども相談しながら、入居までをスムーズにしました。お客様の身近な困りごとを解決するための手段として、フル装備をとらえています。

特に最近では、ワンランク上の建材を標準装備し、フル装備を進化させてきました。例えば住宅の性能を上げる高機能の設備が良いとわかってい

泉北ホーム 山本 隆社長



やまもと・たかし 1953年大阪府生まれ。証券会社、不動産会社を経て、23歳で独立し山本工務店を設立。90年に現社名に改めた。

「フル装備」住宅前面に

インタビュー 最前線

【大道寺峰子、写真も】

ツーバイフォー（2×4）工法の注文住宅で大阪府内トップの施工棟数を誇る「泉北ホーム」。「フル装備」を前面に打ち出した戦略などで成長を図ってきた山本隆社長（65）に今後の展望を聞いた。

でも、料金がアップするオプション仕様だとお客様はためらいがちです。そこで、標準装備で大量に仕入れることでコストダウンし、価格を上げずに実現を図ってきました。

メーカー側からも普及に向けた情報発信基地として活用されるようになっていきます。

— ツーバイフォー工法も特徴です。

◆当社が現社名にした19

90年は、建築基準法が改正され木造3階建てが増え始めたころでした。都心でも駐車場付きの戸建てを持つことができるので、ツーバイフォーに力を入れ始めた時に阪神大震災が発生。ツーバイフォー工

名称	泉北ホーム株式会社
本社所在地	堺市中区深井中町3211
創業	1976年12月
資本金	5000万円
売上高	79億円(2018年5月期)
従業員数	194人(同年9月現在)

法は枠組み壁工法とも呼ばれ、従来の軸組み工法に比べ、面で揺れを支えるので地震に強く、ほとんど被害が出なかった。改めて家は家族の命を守るものでなくてはならないと強く思いました。

大阪府内のツーバイフォー工法の3階建てで10年連続1位、2階建てでも4年連続1位になりましたが、全体では6割が2階建てです。ライフスタイルが多様化し、住宅もファッション性が重視される時代ですが、健康で快適に暮らせる家づくりが基本です。その上でさまざまなメーカーの選択肢の中から、お客様の好みに応じたデザインを提案

するよう心掛けています。

— 今後の人口減少・住宅過剰社会に対する展望は。

◆当社は大阪府内だけでなく近畿一円がエリアで、自社一貫施工による地域密着が強み。年間420棟を目標にしていますが、施工数や利益を追求するにも限界があります。結局はいかに納得して契約していただくかがポイントで、ショールームなどでの対話を重視してきました。だれもが夢をかなえられる家としての「値ごろ感」を大切に、10年、20年先を見据えた家づくりを提案し続けられれば、消費税アップなどにも左右されないと確信しています。

20年断熱基準すでにクリア

2020年には全ての新築住宅を対象に省エネルギー基準が義務化される。さらに、国はその基準を上回る「ネット・ゼロ・エネルギーハウス」(ZEH)を20年までに標準的な新築住宅で、30年までに新築住宅の平均で、実現を目指している。ZEHは、太陽光発電などでできたエネルギーを使用し、生活に伴う消費エネルギーを全てまかなう住宅。断熱性能の指標となるUA値(外皮平均熱貫流率)について関西では20年の断熱基準で0.87、30年のZEH基準で0.6が目安になる。

泉北ホームでは、1555万円のスマイルパッケージ▽メジャーパッケージ▽プレミアムパッケージの三つのラインアップがあり、スマイルとメジャーで0.87、プレミアムで0.6のUA値をすでに達成している。